

第 104 号

発行：議会改革等に関する調査特別委員会
編集：うらそえ市議会だより編集委員会
〒901-2501
沖縄県浦添市安波茶1-1-1
TEL(098)851-5057
FAX(098)877-4826

うらそえ市議会だより



第174回定例会の様子

第174回 定例会の概要 及び経過

第174回定例会は、9月3日招集、9月29日閉会の27日間の会期で開かれました。
初日は、議員提出議案第6号、第7号及び追加上程された議員提出議案第8号について説明聴取後、全会一致で原案可決し、人権擁護委員候補者の推薦、浦添市固定資産評価審査委員会委員の選任、平成26年度一般会計・特別会計（国保・区画整理・下水道・介護・後期高齢者医療）・水道事業会計の各決算認定議案、平成27年度一般会計・特別会計（国保・区画整理・下水道・介護・後期高齢者医療）の各補正予算、条例議案など計29件について提案理由が説明されました。

9月9日から始まった一般質問では、22人の議員が福祉、教育、西海岸開発等市政全般に及ぶ行政課題について活発な議論が展開されました。
9月16日からは市長提出議案の審議に入り、人権擁護委員候補者の推薦については全会一致で推薦することに決定し、浦添市固定資産評価審査委員会委員の選任については、全会一致で同意することに決定しました。また、平成27年度一般会計補正予算を全会一致で原案のとおり可決しました。特別会計（国保・区画整理・下水道・介護・後期高齢者医療）の各補正予算及びその他の議案については本会議で質疑を行った後、各常任委員会に付託しました。決算認定議案については質疑を行った後、平成26年度一般会計決算は決算審査特別委員会へ、各特別会計及び水道事業会計決算認定議案は各常任委員会へそれぞれ付託し、閉会中継続審査としました。
9月29日の最終日は、各委員会へ付託した議案、陳情について、各委員長からの報告の後に、質疑、討論、採決を行い、その結果、議案第59号から議案第72号を原案可決、議案第73号、第74号及び第76号を可決、議案第75号を同意し、陳情10件を採択しました。その後、議員提出議案第9号及び10号が上程され、説明聴取後、全会一致で原案可決しました。
最後に各常任委員会からの陳情の閉会中継続審査の申し出を承認し、第174回定例会を閉会しました。

9月定例会の
一般質問の概要は、
2ページから
5ページに
掲載しています。

9月定例会審議日程									
27日 8月									
27日 (木) 第174回定例会告示									
1日 9月									
3日 (木) 議会運営委員会 開会									
議員提出議案第6号、第7号上程 (原案説明、表決)									
議員提出議案第8号追加上程 (原案説明、表決)									
諮問第1号、第2号 議案第50号、第76号上程(提案 説明)									
4日 (金) 8日 (火) 休会									
全員協議会(散会後)									
9日 (水) 本会議 一般質問(5人)									
10日 (木) 本会議 一般質問(5人)									
11日 (金) 本会議 一般質問(5人)									
12日 (土) 本会議 一般質問(5人)									
13日 (日) 本会議 一般質問(2人)									
14日 (月) 本会議 一般質問(2人)									
15日 (火) 本会議 一般質問(2人)									
16日 (水) 議会運営委員会(散会後)									
諮問第1号、第2号、議案第50号、第58号(質疑、表決)									
議案第51号(質疑、特別委員会付託)									
議案第52号、第57号、第59号、第76号(質疑、所管委員会付託)									
平成26年度一般会計決算審査特別委員会の設置及び委員の選任									
平成26年度一般会計決算審査特別委員会(散会後)									
17日 (木) 休会									
総務委員会・福祉委員会 文教委員会・建設委員会									
18日 (金) 休会									
議会改革等に関する調査特別委員会									
24日 (木) 休会									
西海岸開発特別委員会									
25日 (金) 休会									
米軍基地関係特別委員会									
29日 (月) 休会									
28日 (火) 本会議 事務整理日									
議案第59号、第76号(委員長報告、表決)									
陳情上程(委員長報告、表決)									
議員提出議案第9号、第10号上程(説明聴取、表決)									
閉会中継続審査の申し出									
閉 会									

9月定例会の 主な 議案概要

平成27年度一般会計及び特別会計（国保・区画整理・下水道・介護・後期高齢者医療）補正予算を可決

平成27年度浦添市一般会計補正予算（第2号）は、既決の歳入歳出予算の総額に8億7956万4000円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ452億5450万1000円とするもので、歳入の主な内容は、普通交付税、国庫支出金、県支出金、寄附金及び前年度からの繰越金を増額するほか、繰入金及び市債

を減額するものです。

歳出の主な内容は、浦添市牧港補給地区返還跡地先行取得事業、屋富祖地区学習等供用施設建設事業、子どもが主体的に学習するための学校ICT機器整備事業及び幼稚園AED整備事業等を新規で予算計上するほか、財政調整基金積立金、減債基金積立金及び特定教育・保育施設運営事業等を増額、また、人事異動に伴う職員給与費等を補正しており、歳入・歳出予算いずれも既決予算成立後の事情変更に伴う各種事業の見直し等、所要の補正措置を講ずるものであり、採決の結果、全会一致で原案のとおり可決しました。

新規条例1件を可決

議案第72号浦添市景観地

区条例については、景観法及び都市計画法で定める景観地区内の建築物や工作物の制限に関し必要な事項を定める条例の新規制定であり、沖縄都市モノレール延長整備事業箇所である県道38号線の浦添警察署付近から前田公務員宿舍沿線の景観地区を対象とした条例であります。採決の結果、全会一致で原案のとおり可決しました。

浦添市廃棄物の処理及び清掃に関する条例を可決

議案第69号浦添市廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部を改正する条例については、事業系一般廃棄物排出量の抑制、リサイクルの推進及び受益者負担の観点から手数料を見直す必要があること等に伴い、平

成28年4月1日より事業系一般廃棄物の処理手数料を現行の1キログラムあたり4円から1キログラムあたり6円に改正するものであります。採決の結果、賛成多数で原案のとおり可決しました。

事業系一般廃棄物の処理手数料が変わります！



現行
1キログラムあたり4円



平成28年4月1日より
1キログラムあたり6円

一般質問

9月定例会の一般質問につきましては、紙面の都合上、主な内容を要約して掲載しております。

なお、詳しい内容は会議録を市立図書館、自治会事務所でご覧になるか、議会ホームページで会議録検索システムをご覧ください。

平成26年度一般会計決算審査特別委員会

10月14日から10月26日までの日程で、平成26年度浦添市一般会計決算審査特別委員会を開催しました。

【平成26年度一般会計決算審査特別委員会委員】

委員長	又 吉 栄	副委員長	仲 里 勝 憲
委員	仲 程 淳 也	委員	宮 里 弘 和
委員	与那原 良 明	委員	松 下 美智子
委員	金 城 泰 邦	委員	島 尻 忠 明
委員	上江洲 徹 也	委員	仲 里 邦 彦
委員	西 銘 健	委員	又 吉 健太郎
委員	当 山 勝 利		



仲程 淳也

○小規模保育について

議員 今年度からスタートした小規模保育事業ですが、1現状、2今年度の見通しについて伺う。

福祉部長 子ども・子育て支援新制度が平成27年4月からスタートしている。小規模保育事業は新制度に伴う新たな地域型保育事業のうちの一つとなっており6人から19人の少人数の定員。0歳から2歳までの保育する事業となっている。

9月現在、既に一か所認可を行い、開所している。今年度はあと3か所あり、うち2か所は10月開所に向け認可作業を進めており、残り1か所も開所時期を調整している。平成28年4月の開所に向け4か所の認可外施設が小規模保育事業所へ移行を希望している。

議員 待機児童解消の一躍を担う事業と思う。しっかりと取り組んでいただきたい。



又吉 栄

○社会保障・税番号（マイナンバー）制度について

議員 本市の対応について伺います。

総務部長 これまで市といましては、4月広報紙、マイナンバー制度について広報で掲載しております。また来月、10月の広報の中でも、先ほど議員からありましたように、10月5日時点で住民票を有する全ての方に一人、一人にマイナンバーが簡易書留でもって、これは通知され

ます。そういった細々としたことについて、今後とも広報でも10月でもお知らせしますけれども、先ほどありましたように自治会、あるいは自治会長会事務連絡会の会合の中で、あるいは地域においていつかの説明というものを今後、力をいれて、混乱することのないよう説明をしてまいりたいと考えております。



比嘉 克政

○国家公務員宿舍前田住宅跡地利用について本市はどのような計画をお持ちか

議員 国家公務員宿舍前田住宅跡地利用についてどのような計画をお持ちか伺う。

市長 前田公務員宿舍跡地利用の処分に関する国の方針は、平成28年度に構内道路を挟み、自治会事務所棟のある西側部分を平成30年度以降に住宅棟の立ち並ぶ東側部分の処分等を予定し、処分に際しましては、公共用優先の考え方を原則としており、これまで当該

跡地利用計画について、浦添総合病院、法人保育所等から陳情書が提出される一方、再開発や市民の森整備を求める要望もあった。本市としては、行政課題解決の種地として利用を検討しており、現在、待機児童解消を目的とした保育所施設の検討をしているところである。残る大部分は災害に強い街づくり実現のため検討している。



上江 洲徹也

○カーミージー里浜条例制定について ○琉球コラソン支援 ○小中学生陸上競技大会について ○肥満対策について

議員 カーミージー周辺の里浜条例制定について。

市民部長 今後関係機関あるいは審議会を活用しながら取り組んでまいります。

議員 市スポーツ推進計画琉球コラソン支援について。

教育部長 練習、試合会場の提供、施設料の減額等の実施。今年開幕戦大会当日には多くの市民が駆けつけるよう図ってまいります。

議員 浦添市小中学生陸上

競技大会開催について。

教育部長 当然再開に向けて実現できるようしっかりと取り組んでまいります。

議員 浦添市の健康重点施策肥満対策の強化について。

市長 本市は肥満者の割合が男女ともに全国平均より高く、肥満は生活習慣病などの要因になるため、肥満健康教育の実施など行政と市民が一体となった肥満対策を推進してまいります。



浦崎 猛

○当山小学校過大規模校解消について

議員 当山小学校は昭和51年に児童数344人で開校し、当時は都会の僻地校と言われていた。それが開校39年目の平成27年度で児童数は1072人。728人の増、その間、分離校の計画があったようですが、将来児童数の増加は推測されないということで、分離校の計画は没になったと聞いております。

教育部長 これまで当山小学校の分離建設については、本市の建設計画、あるいは審議会等の開催の実績はありません。過去の審議内容等を確認すると平成9年3月定例会の一般質問で、児童数は伸びてきているが、増減を繰り返すというところで、将来的な予測が困難であるという旨で適宜対応して、推移を見守りたという旨の答弁があり、当時はそういう状況となっていた。



比嘉 讓治

○港湾道路完成に向けて ○里浜条例制定について ○海浜公園実現に向けて ○市道牧港港川線について

議員 港湾道路開通時の市民的祝福行事について。

都市建設部長 国、県と連携して取り組んでいけるようにしていきたい。

議員 里浜条例制定に向けた検討の現状を聞きたい。

市民部長 関係機関部署と協議、あるいは審議会を活用しながら時期について検討していきたい。

議員 海浜公園実現に向けた具体的なスケジュールを

聞きたい。

都市建設部長 今年度用地の先行取得を行い、平成28年度基本構想策定、29年度実施設計を行いトイレ等設置する計画である。

議員 市道「牧港・港川線」の都市計画街路整備に向けて取り組みを聞きたい。

都市建設部長 幅員18mに拡幅するため、28年度都市計画変更、29年度事業化を

予定している。



金城泰邦

○不登校生徒の居場所づくりの教室設置について
○当山小学校の校舎増築並びに通学路の安全対策について

議員 こども青少年課に不登校生徒の居場所づくりの教室を設置することについて伺う。

議員 整備計画を策定し進める。通学路の安全対策は。

都市建設部長 当山小の通学路農道6号線については

指導部長 遊び型不登校生徒の居場所の確保について本市の教育的課題であり解決に向けて全力で取り組む。

議員 当山小の過密化解消のための校舎増築は。その結果、裏門付近は幅員が43mぐらいに広がっている。今度は舗装工事、あとは安全対策のカラー舗装等を検討したい。

教育部長 2年後に見込まれる教室不足の対策は校舎の一部改修により普通教室



比嘉武宏

○しまくとうばの普及
○不登校の現状と対策
○カーミージーを活かす海辺公園事業
○キャンプ・キンザー一括全面返還

議員 しまくとうばの普及取り組みについて伺う。

文化部長 教育委員会では

しまくとうばを受け継ぎ普及促進目的に、文化芸術振興事業、うちなーぐちワークシヨップ、村まわり組踊、小学校しまくとうば読本、中学校で校長講話を取り入れる普及に努める。

議員 本市の不登校の現状と対策について伺う。

指導部長 問題を抱える生徒のための居場所事業、平成26年より生徒サポーター派遣事業、学校と連携を図り、支援の充実に努める。

議員 城間自治会所有地、カーミージーを活かす海辺公園事業について伺う。

指導部長 身近な環境を活用して体験学習の実践を図る。

議員 キャンプ・キンザー一括全面返還取り組みを伺う。

市長 市議会、地主会要請行動を共に取組む。



當間清春

○健康福祉について
○自治会活性化について

議員 認知症（新オレンジプラン）について伺う。

市長 認知症高齢者等に優しい地域づくりに向けて、市町村が認知症施策を総合的に推進していく。

議員 プランの柱である施策で本市の取り組みを伺う。

健康部長 早期発見、早期対応の取り組みは、医師を含めた専門職による認知症初期集中チームをたちあげ、支援を行っている。地域

域包括支援センターに専門職の地域支援推進員を配置し、中学校区単位で支援策の強化を図っている。

議員 自治会事務所建設補助金の1/2の根拠を伺う。

市民部長 負担割合を半々持つことで、負担軽減と、自立性を持たすということから、割合を1/2とし、上限1000万円としている。



下地秀男

○ティーボールの小学校課程での取り組みについて

議員 ティーボールの小学校課程での取り組みについて、全国大会を目指して取り組むこともよいのではないかと伺う。

教育部長 ティーボールは文部科学省の小学校学習指導要領に基づき、全国の小学校や本市でも体育の授業で行われている。野球やソフトボールの初心者、スポーツが苦手な子も楽しめ、運動の楽しさを知って

もらうのに適したスポーツです。現在、市内小学校におきましても授業として取り組まれている。全国大会へ向けた取り組みにつきましては、対象が小学生の3年生、4年生となっており、浦添市スポーツ少年団の本部である浦添市体育協会を通してティーボールのルールや大会情報等の提供などを進め、ティーボールの普及促進に努めてまいります。



松下美智子

○各種証明書のコンビニ交付について
○男女混合名簿の導入について

議員 各種証明書のコンビニ交付の実施について伺う。

市長 コンビニにおける証明書交付サービスの導入実施については、平成29年4月運用ができるよう必要な作業を現在進めている。

議員 教育現場での男女混合名簿の導入は継続して取り上げており、教育委員会としてのご見解と取り組みについて伺う。

指導部長 教育委員会として平成28年度以降に導入を目指すというご答弁を明確に頂戴しました。一番望んでいたことですので本場にありますが、改めて伺います。

では、生命の尊重、男女の相互理解、協力などの人権教育を推進するため、男女混合名簿については方針を立て校長会と調整し、平成28年度以降の導入に向けて取り組んでまいります。

議員 教育委員会として平成28年度以降に導入を目指すというご答弁を明確に頂戴しました。一番望んでいたことですので本場にありますが、改めて伺います。



伊礼悠記

○学童クラブの支援拡充
○混合名簿の導入実現へ
○税金無駄遣いの西海岸開発やめ、軍港受け入れ撤回せよ

議員 人権保障の混合名簿導入、早期実現取り組みを。

指導部長 平成28年度以降の導入に向けて取り組む。

議員 子どもの貧困対策拡充、給付制奨学金の実現を。

指導部長 一部給付制も視野に入れ調査、研究する。

議員 茶山団地の土砂災害道路災害防除事業を活用して早急に対策を講じるべき。

都市建設部長 県と調整して検討していく。

議員 市民の7割が知らない西海岸開発計画、第2ステージに事業費12億円、税金の無駄遣いやめよ。高すぎる国保税の引き下げを。



西銘 健

○学童、幼稚園、保育園の支援拡充を
○子ども貧困対策を
○安倍政権が強行する戦争法と一体の
新軍港建設を許さない

議員 学童クラブ指導員の
処遇改善、障がい児受入補
助を拡大することについて

福祉部長 指導員処遇改善
として1施設あたり153
万円余、障がい児受入は5人
以上で171万円余を予定

議員 給付制の奨学金創設。
指導部長 給付も研究する。

議員 低所得者の学習支援
福祉部長 小学生も検討。

議員 新軍港の水深、岸壁
の長さは何mか。

議員 子どもの医療費助成
の拡大、乳幼児健診の土日
実施、保育園の増設、幼稚
園教育の充実、学校給食の
無償化、子どもの貧困対
策、安謝川沿い道路やシー
サー通りの冠水対策、勢理
客急傾斜付近の早期対策を。



仲里 邦彦

○視覚障がい者の社会参加と福祉向上の施策
○居酒屋への子ども同席の立ち入り時間制限
○パークゴルフ場の整備

議員 視覚障がい者の社会
参加と福祉向上について。

市長 てだこウオークは、
かりゆし遊歩隊の協力で参
加しやすい環境づくりに努
める。

企画部長 声の広報を音訳
ボランティアに依頼しCD
等に収録して活用している。

福祉部長 支援に必要な点
訳及び朗読ボランティアの
養成をする。

市民部長 視覚障がい者用

の音響付信号機設置の拡充
整備する。

議員 居酒屋への子ども同
席の立ち入り時間制限を。
指導部長 居酒屋に子ども
を連れて行かない運動の励
行。具体的な取り組みを検
討する。

議員 パークゴルフ場の整
備について。

都市建設部長 高齢化社会
を見据えた生涯スポーツの
場として整備を検討する。

議員 浦西中学校のトイレ
を洋式に改修する事を伺う。

教育部長 新しく整備した
学校は洋式トイレが進んで
いるが、既存施設は和式中
心が多い。浦西中学校は和
式中心であり、各階の男女
トイレに1ヶ所から年次的
整備を努める。トイレ土間
も学校と調整し検討する。

議員 地域貢献をする若者
採用の制度の研究を伺う。

総務部長 市民サービスの

浦西中学校男女トイレを洋式へ
職員採用における地域力制度を
認可外保育施設の活用を



真栄城玄誠

○学校評議員について
○再任用制度について
○緑ヶ丘自治会事務所の現状につ
いて

議員 学校評議員制度に類
似した制度として、学校運
営協議会制度があるが、導
入について伺う。

指導部長 先進校の事例を
参考に調査研究を行う。

議員 公的年金の支給年齢
引き上げに伴う、本市の再
任用上限年齢を伺う。

総務部長 最長期限として
65歳となっているが、任用
は義務付けではないと認識
している。

議員 自治会事務所の建設
に係る大まかな事務的流れ
を伺う。

市民部長 まずは自治会の
方に資金計画とある程度の
建物の設計図をお願いす
る。その後自治会におい
て、建設委員会等を立ち上
げて地域の意見を反映させ
ているか確認する。それが
出来た後、内部の処理とし
て、実施計画と予算確保の
手続きを行う。



宮里 弘和

浦西中学校男女トイレを洋式へ
職員採用における地域力制度を
認可外保育施設の活用を

議員 屋富祖通り地域の整
備の現状について伺う。

都市建設部長 今年度は
ワークシヨップ開催を3回
程度予定。意見収集を進
め、次年度以降、事業化に
向け、道路管理者である沖
縄県との協議等、順次作業
を進める予定となっている。

議員 渋谷区パートナ
シップ条例を含め、LGB
T支援について、本市の見
解を伺う。

議員 屋富祖通り地域の整
備の現状について伺う。

議員 屋富祖通り地域の整
備の現状について伺う。



当山 勝利

○てだこまつりについて
○安波茶沢岬線について
○西海岸開発の浦添市素案について

議員 てだこまつりと会場
内の未成年者の飲酒につい
て、また次年度の防止の具
体策について伺う。

市民部長 大勢の来場者が
あり、合計約14万7千人の
来場があった。祭り会場内
において、未成年の飲酒が
確認され補導された。

指導部長 成人識別リスト
バンドやスタンプなどの活
用について検討したい。

議員 市役所から安波茶の

坂を下り区画整理地域に行
く道の今後の予定について。

都市建設部長 安波茶沢岬
線は平成29年度の事業化に
向け鋭意取り組んでいく。

議員 西海岸開発の浦添市
素案にこだわった場合、進
捗が遅れると危惧する。

西海岸開発局長 本市が素
案に固執した場合、時間が
かかることが想定される。
あくまでたたき台と考えて
いる。



仲里 勝憲

○屋富祖通り地域の整備について
○本市のLGBT支援について
○キャンプ・キンザーの先行取得
制度について

議員 屋富祖通り地域の整
備の現状について伺う。

都市建設部長 今年度は
ワークシヨップ開催を3回
程度予定。意見収集を進
め、次年度以降、事業化に
向け、道路管理者である沖
縄県との協議等、順次作業
を進める予定となっている。

議員 渋谷区パートナ
シップ条例を含め、LGB
T支援について、本市の見
解を伺う。

議員 屋富祖通り地域の整
備の現状について伺う。

議員 屋富祖通り地域の整
備の現状について伺う。

議員 屋富祖通り地域の整
備の現状について伺う。

議員 屋富祖通り地域の整
備の現状について伺う。

議員 屋富祖通り地域の整
備の現状について伺う。

議員 屋富祖通り地域の整
備の現状について伺う。

議員 屋富祖通り地域の整
備の現状について伺う。

議員 屋富祖通り地域の整
備の現状について伺う。

議員 屋富祖通り地域の整
備の現状について伺う。

議員 屋富祖通り地域の整
備の現状について伺う。

議員 屋富祖通り地域の整
備の現状について伺う。

議員 屋富祖通り地域の整
備の現状について伺う。

議員 屋富祖通り地域の整
備の現状について伺う。

議員 屋富祖通り地域の整
備の現状について伺う。

議員 屋富祖通り地域の整
備の現状について伺う。

議員 屋富祖通り地域の整
備の現状について伺う。

議員 屋富祖通り地域の整
備の現状について伺う。

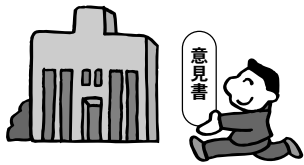
議員 屋富祖通り地域の整
備の現状について伺う。

議員 屋富祖通り地域の整
備の現状について伺う。

議員 屋富祖通り地域の整
備の現状について伺う。

議員提出議案 5件を可決

第174回定例会において議員提出議案第6号米軍MH60ヘリコプター墜落事故に関する意見書、議員提出議案第7号米軍MH60ヘリコプター墜落事故に関する抗議決議、議員提出議案第8号北朝鮮による日本人拉致問題等の早期解決を求める意見書、議員提出議案第9号浦添市議会会議規則の一部を改正する規則及び議員提出議案第10号子宮頸がん予防ワクチン接種後の副反応被害の早期解決を求める意見書が提出され、採決の結果、議員提出議案第6号、第10号を全会一致で原案のとおり可決しました。



北朝鮮による日本人拉致問題等の早期解決を求める意見書

平成14年、北朝鮮は日本人拉致を認め、我が国の拉致被害者5人とその家族の帰国が実現した。しかし、その後13年の歳月が経過したが、5人の帰国以外全く進展が見られない。拉致問題は重大な主権侵害であり、許しがたい人権侵害である。

政府は、現在、この5人を含めた17人を北朝鮮による拉致被害者として認定している。認定された被害者以外にも、北朝鮮による拉致の可能性を排除できない方々が存在しており、沖縄県においても25人の氏名が沖縄県警察本部によって公表されている。

拉致被害者の帰国を待ち望んでいる御家族の高齢化が進んでいることから、一刻も早い問題の解決が求められている。

一方、政府においては、昨年5月にスウェーデンで開催された日朝政府間協議において、合意に至った拉致被害者を含むすべての日本人の再調査について、7月に北朝鮮が特別調査委員会を設置したことで、解決に向けた第一歩と期待できるものとなった。

しかしながら、北朝鮮は、再調査の最初の報告を昨年の夏の終わりから秋の初めを目指すとしていたが、初期段階だと先送りにしてその後、具体的な進展のめどが立っていない状況である。

よって、本市議会は北朝鮮による拉致問題等の進展と早期解決を図るために、下記の事項を強く要請する。

記

- 1 北朝鮮に拉致されたすべての被害者を一刻も早く救出し、早期帰国を実現すること
- 2 北朝鮮による拉致の可能性が排除できない失踪者の真相を早急に解明すること

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成27年9月3日

沖縄県浦添市議会

宛先

衆議院議長 参議院議長 内閣総理大臣
内閣官房長官 外務大臣 拉致問題担当大臣
国家公安委員会委員長 警察庁長官

米軍MH60ヘリコプター墜落事故に関する意見書

去る8月12日午後1時46分頃、米陸軍のMH60ヘリコプターが、沖縄本島東側の海上で米軍艦船への着艦に失敗し、墜落。機体が破損し、乗員17名中7名が負傷する事故が発生した。

このような事故は、一步間違えば人命、財産にかかわる重大な事故につながりかねず、日常的に米軍機の飛行経路となっている本市においても、市民に大きな不安と恐怖を与えるものである。

事故後、事故原因が明らかにされないまま同型機の飛行が再開されていることは、市民、県民の命と安全を軽んじるものであり、決して許されるものではない。

米軍機による事故等に対しては、本市議会でも関係要路に、その都度厳重に抗議し、事故の原因究明と再発防止を強く求めてきた。それにもかかわらず、米軍は事故原因や再発防止策を公表しないまま訓練を再開するなど、一方的な行動をとってきた。そうした中で、またしてもこのような事故が発生したことは、市民、県民生活を軽視するものであり、断じて容認できるものではない。

よって、本市議会は、市民の不安と恐怖をなくし、市民の生命と財産を守る立場から、今回の事故に厳重に抗議するとともに、下記の事項が速やかに実現されるよう強く要請する。

記

- 1 事故原因を徹底的に究明し、その結果を速やかに県民に明らかにすること
- 2 事故原因の究明、安全対策及び再発防止策が講じられるまでの間、同機種の飛行を中止すること
- 3 航空機の整備・保守点検体制を徹底的に見直して、航空機の安全管理と事故の再発防止に努めること
- 4 事故による危険性を取り除き、市民の不安をなくすよう、米軍基地を整理縮小すること

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成27年9月3日

沖縄県浦添市議会

宛先

衆議院議長 参議院議長 内閣総理大臣 外務大臣
防衛大臣 沖縄及び北方対策担当大臣 沖縄防衛局長

※議員提出議案第7号の抗議決議についての宛先は以下の通り
駐日米国大使 在日米軍司令官
在日米軍沖縄地域調整官 在沖米国総領事

子宮頸がん予防ワクチン接種後の副反応被害の早期解決を求める意見書

厚生労働省は、2010年より任意接種の子宮頸がんワクチン（HPVワクチン）を「子宮頸がんワクチン接種緊急促進事業」として公費負担で実施してきた。子宮頸がんの予防には、子宮頸がん予防ワクチンの接種が有効であるとされ、2013年4月1日から予防接種法による定期接種として同ワクチンの接種が実施されてきた。

その後、ワクチン接種後にワクチンとの因果関係が疑われる持続的な疼痛が特異的に見られたことから、同年6月、厚生労働省は、国民に適切な情報提供ができるまでの間、定期接種を積極的に勧奨しないとした。

しかしながら、厚生労働省の勧告から今日まで、同省に設けられた厚生科学審議会予防接種・ワクチン分科会副反応検討部会においては、いまだ因果関係は解明されず、救済体制は進んでいない。その間にも、接種後の副反応の症状に苦しむ被害者が全国で声を上げている。2014年8月の厚生労働大臣の記者会見では、各県に専門的な協力機関を設けること、医療機関からの副反応報告が確実に行われること等が発表されたが、これまでの子宮頸がんワクチン接種後の副反応被害について、国の責任において調査し実態把握すること、原因解明を急ぐとともに、ワクチン接種後に日常生活に支障が生じている方々に対して医療支援を実施することが急務である。

よって、国において国民の健康と安全のため、下記の事項を実施するよう強く求める。

記

- 1 子宮頸がん予防ワクチンによる副反応に関し、因果関係の解明を急ぐとともに、国民に対し速やかに情報提供を行うこと
- 2 子宮頸がんワクチンを接種した方全員に対し、接種後の被害実態調査を実施すること
- 3 製薬会社にワクチン成分の公表を促し、関係機関に働きかけて接種後の副反応被害への治療法の確立を急ぐこと
- 4 子宮頸がん予防ワクチンの接種後に日常生活に支障が生じた方々への補償並びに相談事業の拡充と各地域の医療機関の連携による対応を確立すること

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成27年9月29日

沖縄県浦添市議会

宛先

衆議院議長

参議院議長

内閣総理大臣

厚生労働大臣

浦添市議会会議規則の一部を改正しました

平成27年9月定例会において、議員提出議案として提出された「浦添市議会会議規則の一部を改正する規則」が、全会一致で可決されました。

改正前の市議会会議規則では、議員が本会議などを欠席する際の理由に、女性議員の出産については明確に規定されていませんでした。

このような中、全国市議会議長会が、女性活躍担当大臣より「女性議員が活躍できる環境を整備して議会を活性化し、より良い住民サービスを実現するため、標準市議会会議規則において出産に伴う議会の欠席に関する規定を明確に設けていただくことを検討願いたい。」旨の要請を受けて、全国の市議会が参考とする「標準市議会会議規則」の改正をしたことから、この趣旨を踏まえて、浦添市議会においても次のとおり、会議規則の一部を改正いたしました。

改正前	改正後
第2条（欠席の届出） 議員は、事故のため出席できないときは、その理由を付け、当日の開議時刻までに議長に届け出なければならない。	第2条（欠席の届出） 議員は、事故のため出席できないときは、その理由を付け、当日の開議時刻までに議長に届け出なければならない。 <u>2 議員は、出産のため出席できないときは、日数を定めて、あらかじめ議長に欠席届を提出することができる。</u>
第90条（欠席の届出） 委員は、事故のため出席できないときは、その理由を付け、当日の開議時刻までに委員長に届け出なければならない。	第90条（欠席の届出） 委員は、事故のため出席できないときは、その理由を付け、当日の開議時刻までに委員長に届け出なければならない。 <u>2 委員は、出産のため出席できないときは、日数を定めて、あらかじめ委員長に欠席届を提出することができる。</u>

第174回浦添市議会定例会議決結果一覧

(平成27年9月定例会)

事 件 番 号	事 件 名	議 決 結 果
諮問第1号	人権擁護委員候補者の推薦について (手登根 仁美)	適 任
諮問第2号	人権擁護委員候補者の推薦について (太田 仁)	適 任
議案第50号	浦添市固定資産評価審査委員会委員の選任 について (宮城 吉信)	同 意
議案第51号	平成26年度浦添市一般会計歳入歳出決算 認定について	閉 会 中 継続審査
議案第52号	平成26年度浦添市国民健康保険特別会計 歳入歳出決算認定について	閉 会 中 継続審査
議案第53号	平成26年度浦添都市計画土地区画整理事業 特別会計歳入歳出決算認定について	閉 会 中 継続審査
議案第54号	平成26年度浦添市公共下水道事業特別会 計歳入歳出決算認定について	閉 会 中 継続審査
議案第55号	平成26年度浦添市介護保険特別会計歳入 歳出決算認定について	閉 会 中 継続審査
議案第56号	平成26年度浦添市後期高齢者医療特別会 計歳入歳出決算認定について	閉 会 中 継続審査
議案第57号	平成26年度浦添市水道事業会計利益の処 分及び決算の認定について	閉 会 中 継続審査
議案第58号	平成27年度浦添市一般会計補正予算 (第2 号)	原案可決
議案第59号	平成27年度浦添市国民健康保険特別会計 補正予算 (第2号)	原案可決
議案第60号	平成27年度浦添都市計画土地区画整理事業 特別会計補正予算 (第2号)	原案可決
議案第61号	平成27年度浦添市公共下水道事業特別会 計補正予算 (第1号)	原案可決
議案第62号	平成27年度浦添市介護保険特別会計補正 予算 (第1号)	原案可決
議案第63号	平成27年度浦添市後期高齢者医療特別会 計補正予算 (第1号)	原案可決
議案第64号	浦添市情報公開条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第65号	浦添市個人情報保護条例の一部を改正する 条例	原案可決
議案第66号	浦添市附属機関設置に関する条例の一部を 改正する条例	原案可決
議案第67号	浦添市職員の再任用に関する条例の一部を 改正する条例	原案可決
議案第68号	浦添市手数料条例の一部を改正する条例	原案可決

事 件 番 号	事 件 名	議 決 結 果
議案第69号	浦添市廃棄物の処理及び清掃に関する条例 の一部を改正する条例	原案可決
議案第70号	浦添市住民基本台帳ネットワークシステムに係る本人 確認情報等の保護に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第71号	浦添市家庭的保育事業等の設備及び運営に関 する基準を定める条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第72号	浦添市景観地区条例	原案可決
議案第73号	あらたに生じた土地の確認について	可 決
議案第74号	町の区域の変更について	可 決
議案第75号	工事請負契約の締結について (港川小学校 校舎改築工事 (建築))	同 意
議案第76号	財産の取得について (水槽付消防ポンプ自 動車)	可 決
議 員 提 出 議案第6号	米軍MH60ヘリコプター墜落事故に関する 意見書	原案可決
議 員 提 出 議案第7号	米軍MH60ヘリコプター墜落事故に関する 抗議決議	原案可決
議 員 提 出 議案第8号	北朝鮮による日本人拉致問題等の早期解決 を求める意見書	原案可決
議 員 提 出 議案第9号	浦添市議会会議規則の一部を改正する規則	原案可決
議 員 提 出 議案第10号	子宮頸がん予防ワクチン接種後の副反応被害の 早期解決を求める意見書	原案可決
平 成 2 6 年 陳情第15号	浦添市地域子育て支援拠点事業委託料の国 基準額の予算措置に関する陳情	採 択
陳 情 第 2 号	子ども達にとって最善の利益となる学童保育をつ くるため待機児童と大規模の解消を求める陳情書	採 択
陳 情 第 5 号	子宮頸がんワクチン接種後の副反応被害の 早期解決を求める要請	採 択
陳 情 第 7 号	西海岸開発に係る浦添市素案の推進につい て (要請)	採 択
陳 情 第 8 号	てだこ浦西駅周辺整備・まちづくり事業に ついて (要請)	採 択
陳 情 第 10 号	西海岸開発に係る浦添市素案の推進につい て (要請)	採 択
陳 情 第 11 号	てだこ浦西駅周辺整備について (要請)	採 択
陳 情 第 12 号	てだこ浦西駅周辺整備について (陳情)	採 択
陳 情 第 13 号	市内企業への優先発注並びに市産品及び県 産品の優先使用について (要請)	採 択
陳 情 第 15 号	県産品の優先使用について (要請)	採 択

議 会 日 誌

《9月》

1日 議会運営委員会

3日 議会運営委員会
第174回定例会く9月29日
全員協議会

9日 一般質問く9月15日まで

15日 議会運営委員会

16日 議会運営委員会

17日 平成26年一般会計決算審査特別委員会
総務委員会・福祉委員会
文教委員会・建設委員会

18日 議会改革等に関する調査特別委員会

24日 西海岸開発特別委員会

25日 米軍基地関係特別委員会

《10月》

5日 福祉委員会・建設委員会

14日 一般会計決算審査特別委員会く
10月26日まで

27日 建設委員会

28日 議会改革等に関する調査特別委員会

29日 第82回九州市議会事務局長会（大分）
うらそえ市議会だより編集委員会

《11月》

9日 福祉委員会行財政視察く12日まで
（京都府長岡京市・城陽市
大阪府寝屋川市・吹田市）

10日 第99回評議委員会（東京）

12日 うらそえ市議会だより編集委員会

16日 議会改革等に関する調査特別委員会

18日 第184回臨時会告示

20日 沖縄県市議会議長会市議会議員・
職員研修会（豊見城市）

24日 議会運営委員会

25日 第184回臨時会

26日 第175回定例会告示

※平成27年11月16日現在の日程を掲載しております。

定例会は3・6・9・12月です。みんなで議会を傍聴しましょう！